

1. 市民・子どもたちの安全安心のためのIT・ICTの活用について

【質問】フェイスブックやツイッターを使った発信を災害時にも行えるようにするため、各課の連携を確認する意味も含めて防災訓練に組み込め。

【市長答弁】現地からはフェイスブック、ツイッターに掲載、本庁舎からはホームページに掲載する情報伝達訓練を取り入れるよう今後検討する。

【質問】フェイスブックやツイッターのアカウントを持っている職員は、何人で何パーセントか。

【市長答弁】アカウントを持っている職員は地域防災対策室や災害対応関係課などとなっているが、検討課題とする。

【質問】メール配信システムの導入についての進捗は。

【市長答弁】平成27年度当初予算での予算措置を予定している。

【質問】メール配信システム導入希望を問うた各学校のアンケート結果、「保護者の民意」は。

【教育長答弁】「必要である」小学校74.9%、中学校72.1%、「必要でない」小学校4.1%、中学校6.1%、「どちらでもない」小学校21.0%、中学校21.8%である。

【質問】教育委員会としてはどのように対応した、あるいは対応する考えか。

【教育長答弁】導入に二の足を踏む学校もある。教育委員会としては今後も情報提供や支援を積極的に行う。

【質問】市民の皆様からよく問合せをいただくようなものについてのキーワードは、すべてホームページに登録されているか、一度見直しをせよ。

【市長答弁】登録されているか確認を行い、登録されていない場合は速やかに登録したい。

【質問】問合せのキーワードは、わずかな表記の違いで表示されないことのないように、十分に配慮せよ。

【市長答弁】登録方法においても配慮する。

【質問】駅東定住促進分譲地は、市ホームページのバナーや庁舎内の椅子やエレベーターの広告を活用せよ。

【市長答弁】より見やすくアピール性の高い広告に取り組みたい。

2. 出生数向上の要因と「羽咋版—地方創生」について

【質問】近年の羽咋市の出生数は改善傾向にあるとの報告があった。近隣の市町と比較して、どの程度良い数字か。

【企画財政課長答弁】過去3年でもこの増加率は県内で見てもトップクラス、過去5年でも県内上位である。出生数は増加傾向を現在も維持しているものと考えている。

【質問】この結果は、一つでなく複合的要因によるものと考えているが、どうか。

【市長答弁】過去5年間で5社の企業誘致に成功し、これまで105名の雇用が生まれた。定住化策として実施した住まいづくり奨励金交付制度や新婚世帯家賃補助制度、保育料が3人目以降の無料化や子ども医療費助成制度の拡充などの施策も効果を果たしている。

【質問】「羽咋版—地方創生」を推進するにあたり、どう加速し、反映するのか。

【市長答弁】市独自の雇用対策として、羽咋版・地方創生プランで雇用を生み、特産品を加工し流通まで行う6次産業化を推進したい。

3. 動物愛護の啓発について

【質問】安易にペットを飼わないこと、そして捨てないこと、不妊・去勢手術等のケアをきちんと行うことなどの動物愛護を啓発した写真やポスターなどの掲示を市役所ロビー等で行うことはできないか。

【総務課長答弁】動物愛護団体から動物愛護の写真やポスターなどの掲示のご要望があれば、できるだけ配慮したい。

【質問】学校においても何らかの機会を捉えて、子どもたちに動物愛護を伝えよ。

【教育長答弁】生命の尊厳について認識させることは重要。家庭や地域と協力し、動物を愛護する心を育む道德教育を実施する。

【再質問】70%以上もの保護者の方々がメール配信を導入してほしいと言っておられるのに、二の足を踏む学校もあると言うのは、全く理解できない。

【教育長再答弁】導入の是非については、各学校で検討していただきたい。